

**日** 中両国における農業ビジネスが新たな段階に突入しつつある。日本では昨年 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）加盟をめぐる議論が白熱化。「安い海外製が洪水のように国内に押しよせ日本の農業は壊滅する」という意見が多い中、「『安心・安全、高品質』を武器にむしろ海外に打って出るべきだ」という“攻め”の農業ビジネスを目指す農業事業者も胎動、その多くが市場として「中国」に狙いを定める。

一方、好調な経済成長を遂げる中国。所得水準の急速な拡大で、「食」に対しても、「よりおいしく、より高い品質」を求める声が日に日に高まっている。彼らにとっても「安心・安全、高品質」である日本の農産物は、まさに「垂涎の的」だ。また農業技術の進展によって、より美味で安心・安全な農作物を日本に積極的に売り込もう、と意欲を燃やす中国の農業ベンチャーも続々誕生しているのも事実だ。

**中** 日两国农业贸易正进入一个新的阶段。去年关于日本加入 TPP（环太平洋战略经济合作协定）的讨论趋于白热化。“便宜的外国商品将像洪水一般涌入国内，将会毁灭日本农业”的意见非常多，“应该以‘安心、安全、高品质’为武器，打入海外”的以进攻型农业贸易为目标的农业从业人员也跃跃欲试，其中大多是瞄准中国市场。

另一方面，中国实现稳步经济增长，收入水平迅速提高，对于“饮食”更美味更高质量的要求也日益提高。对于他们来说日本的农产品“安心、安全、高品质”，非常吸引人。事实上，由于农业技术的发展，新的中国农业投资者不断出现，并将更加美味且安心安全的农作物积极销往日本。

# 特集 農業新潮流

「安心・安全」「高品質」に挑む新世代のアグリカルチャービジネスに迫る  
新时期的农业贸易挑战“安心、安全”、“高质量”，迫在眉睫

GDPで世界第2位確実の中国。国民の所得水準も向上し、「食」に対する欲求も「量」から「質」へと急速に変化しつつある。一方、貿易自由化が叫ばれる中、品質とブランドで競争に打ち勝とうとする日本の農業従事者の新しい試み。両国の農業ビジネスをめぐるステージは急速に変わろうとしている。

GDP占世界第二的正是中国。国民收入增加，对饮食的要求也从“量”迅速变化到“质”。另一方面，在贸易自由化的呼声中，日本农业从业人员尝试着以品质和品牌在竞争中取胜。两国农业贸易的舞台将急速转型。